

妊娠中・産後の女性における新型コロナウイルス感染症に関する情報（第2報）

5月26日に緊急事態宣言が全国的に解除され、6月現在、感染者数の大幅な増加が抑えられている状況です。状況の変化に応じて、「新しい生活様式」の実践が求められています。臨床現場においても、引き続き第二波、第三波を想定した感染症対策が必要です。

産婦人科における感染対策について

産婦人科領域における感染対策について、日本産婦人科学会¹⁾、日本産婦人科医会²⁾、日本産婦人科感染症学会³⁾によるガイドライン「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応について 医療者向けガイドライン」が策定されています。感染の状況に応じて情報がアップデートされ、このたび医療者向けガイドライン第4版が6月10日付で出版となりました。

このガイドライン第4版では、新型コロナウイルス感染症が終息に向かうなかでの継続的な感染予防、妊産婦への対応に関する要点などが新たに記載されています。各学会ホームページ及び出典URLは以下の通りとなります。

- 1) 公益社団法人日本産婦人科学会ホームページ <http://www.jsog.or.jp/>
ガイドラインページ http://www.jsog.or.jp/news/pdf/20200611_COVID-19.pdf
- 2) 公益社団法人日本産婦人科医会ホームページ <https://www.jaog.or.jp/>
- 3) 一般社団法人日本産婦人科感染症学会ホームページ
http://jsidog.kenkyuukai.jp/information/information_detail.asp?id=103989
ガイドラインページ <http://jsidog.kenkyuukai.jp/images/sys/information/20200611184440-1148CF495C876D5653BEBB457CA8B4151B76062C65B81609F6BF8D90B4662724.pdf>

担当者

青山 花奈恵	ライフ・オステオパシー・センター	理学療法士
須永 康代	埼玉県立大学保健医療福祉学部	理学療法学科 准教授
武田 要	関西福祉科学大学保健医療学部	リハビリテーション学科理学療法学専攻 教授